

ブロフレア®SC

■種類名：ブロフラニリド水和剤

■有効成分：ブロフラニリド-----5.0%

■登録番号：第24422号

(三井化学クロップ&ライフソリューション登録)

■毒性：普通物(毒劇物に該当しないものを指すという通称)

■登録初年：2020.09.14

■性状：黄色水和性粘稠懸濁液体

■有効年限：5年

■包装：250mℓ×20本、500mℓ×20本

【特長】

- ブロフラニリドを有効成分とした新規作用性を有する殺虫剤。
- 速やかに殺虫効果を示し、既存剤に感受性の低下した害虫にも高い効果がある。
- 3週間程度の残効性があり、また耐雨性にも優れる。
- チョウ目とキスジノミハムシが同時防除できるので、あぶらな科野菜の害虫防除に最適である。

【適用内容】(2024年11月末日現在)

作物名	適用害虫名	希釈 倍数 (倍)	使用液量 (ℓ/10a)	使用時期	本剤の 使用回数	使用方法	ブロフレア® を含む 農薬の 総使用回数	
キャベツ	コナガ、アオムシ ハスモンヨトウ、ヨトウムシ オオタバコガ、ウワバ類 ハイマダラノメイガ シロイチモジヨトウ	2000 ~ 4000	100~300	収穫前日 まで	3回 以内	散布	3回以内	
はくさい	コナガ、アオムシ ハスモンヨトウ、ヨトウムシ オオタバコガ、ハイマダラノメイガ カブラハバチ類、キスジノミハムシ ダイコンハムシ シロイチモジヨトウ							
だいこん	コナガ、アオムシ ヨトウムシ、キスジノミハムシ カブラハバチ類、ダイコンハムシ ハイマダラノメイガ							
かぶ	コナガ、キスジノミハムシ ハイマダラノメイガ、アオムシ ハスモンヨトウ、ダイコンハムシ							
はなやさい類	アオムシ、オオタバコガ コナガ、ハスモンヨトウ ヨトウムシ、ウワバ類 ハイマダラノメイガ シロイチモジヨトウ							
非結球 あぶらな科 葉菜類	コナガ、アオムシ キスジノミハムシ							
レタス類	ハスモンヨトウ、ヨトウムシ オオタバコガ、ウワバ類 シロイチモジヨトウ							
ねぎ	ネギコガ、ネギハモグリバエ シロイチモジヨトウ							
アスパラガス	オオタバコガ、ハスモンヨトウ ジュウシホシクピナガハムシ シロイチモジヨトウ、ヨトウムシ							100~800
未成熟 とうもろこし	アワノメイガ、ツマジロクサヨトウ							100~300

作物名	適用害虫名	希釈 倍数 (倍)	使用液量 (ℓ/10a)	使用時期	本剤の 使用回数	使用方法	“プロフェット” を含む 農薬の 総使用回数
豆類 (種実、ただし、だいず、あずき、いんげんまめ、えんどうまめ、そらまめを除く)	ハスモンヨトウ	2000 ～ 4000	100～300	収穫前日 まで	3回 以内	散布	3回 以内
豆類 (未成熟、ただし、えだまめ、未成熟そらまめ、さやえんどうを除く)							
だいず	ハスモンヨトウ、オオタバコガ ダイズサヤタマバエ フタスジヒメハムシ マメシンクイガ、ツメクサガ ウコンノメイガ、マメハンミョウ シロイチモジヨトウ	16～ 32	0.8～1.6			無人航空 機による 散布	
	あずき	ハスモンヨトウ アズキノメイガ	2000 ～ 4000				
いんげんまめ	ハスモンヨトウ シロイチモジヨトウ						
そらまめ	ハスモンヨトウ、オオタバコガ ダイズサヤタマバエ フタスジヒメハムシ マメシンクイガ、ツメクサガ ウコンノメイガ シロイチモジヨトウ マメハンミョウ	16～ 32	0.8～1.6			無人航空 機による 散布	
未成熟 そらまめ	ハスモンヨトウ シロイチモジヨトウ	2000 ～ 4000	100～300			散布	
えんどうまめ さやえんどう	ハスモンヨトウ シロイチモジヨトウ ヨトウムシ ウラナミシジミ						
かんしょ	ハスモンヨトウ、ナカジロシタバ ヨツモンカメノコハムシ ヒルガオハモグリガ エビガラスズメ シロイチモジヨトウ、イモコガ	16～ 32	0.8～1.6			無人航空 機による 散布	
	さといも	ハスモンヨトウ	2000 ～ 4000			100～300	
てんさい	ヨトウムシ シロオビノメイガ カメノコハムシ	収穫 7日前 まで					
きく	ハスモンヨトウ、オオタバコガ		100～300	発生初期			

【効果・薬害等の注意】

- 使用前によく振ってから使用すること。
- 使用量に合わせ薬液を調製し、使いきること。
- 本剤を無人航空機による散布に使用する場合は、次の注意を守ること。
 - ◆ 散布は各散布機種種の散布基準に従って実施すること。
 - ◆ 散布にあたっては、散布機種種に適合した散布装置を使用すること。
 - ◆ 散布中、薬液が漏れないように機体の散布配管その他散布装置の十分な点検を行うこと。
 - ◆ 散布薬液の飛散によって動植物及び自動車やカラートタンの塗装等へ影響を与えないよう散布地域の選定に注意し、散布区域内の諸物件に十分留意すること。
- 使用液量は対象作物の生育段階、栽培形態及び使用方法に合わせて調節すること。
- みずかけな(水掛菜)に使用する場合は、ほ場内に水がない状態で使用すること。また、使用后14日間は入水しないこと。
- 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにすること。
- ミツバチに対して影響があるので、以下のことに注意すること。
 - ◆ ミツバチの巣箱及びその周辺にかからないようにすること。無人航空機による散布でそれらに飛散するおそれがある場合には使用しないこと。
 - ◆ 関係機関(都道府県の農業指導部局や地域の農業団体等)に対して、周辺で養蜂が行われているかを確認し、養蜂が行われている場合は、関係機関へ農業使用に係る情報を提供し、ミツバチの危害防止に努めること。
- 適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤をはじめて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用すること。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

【安全使用上の注意】

- ❖ 魚毒性等：水産動植物(甲殻類)に影響を及ぼすおそれがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用すること。
無人航空機による散布で使用する場合は、飛散しないよう特に注意すること。
使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきること。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないこと。また、空容器等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理すること。
- ❖ 保管：直射日光をさけ、なるべく低温な場所に密栓して保管すること。